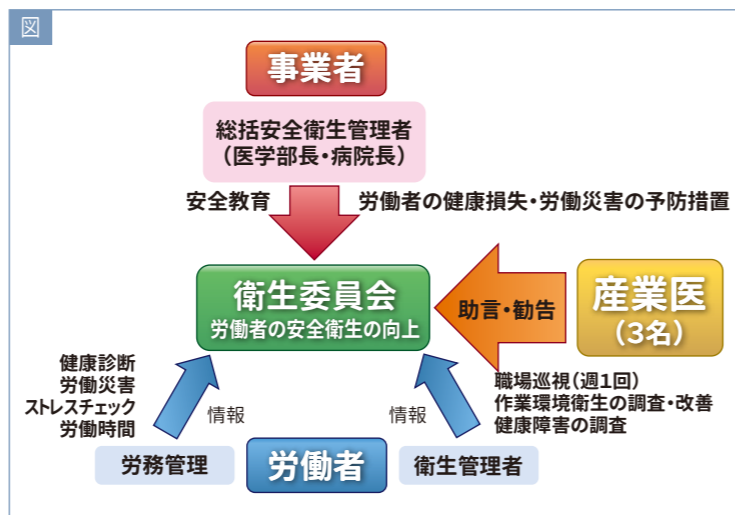




## 「医師の働き方改革」における大学病院産業医の果たす役割

ワーキング・イノベーションセンター 副センター長 やまもと まさひろ  
山本 昌弘

2019年4月の働き方改革関連法の施行に際し労働安全衛生法も改正され、残業時間月80時間超の労働者と産業医の面接が可能となり、労働による健康喪失が危惧される者が、事業所構成員外の第三者と接触が可能となりました。また面接した医師の意見に対する事業者が講じた措置およびその措置に対する産業医の助言のいずれもが衛生委員会での公開と記録が義務となり、産業医は労働者の安全衛生の重要課題を労使間交渉の組上りにのせる役割を担っています(図)。



労働基準法の法定を越える時間外労働を行うには、労使で妥結した健康・福祉の確保措置の遵守が必要で、また裁量労働制の勤務者でも健康上の観点からは同様な措置が必要です。医師業務に限れば、医師の働き方改革により、一般則の年720時間までの時間外労働が所属先で960時間、地域の必須の医療に影響がある場合には兼務先とあわせて一般則の約2.5倍!の1,860時間の勤務が「合法」となります。この時間外労働の拡大には、追加的健康確保措置として、連続勤務28時間以下、勤務間休息9時間、代償休息が義務として課されます。現状でも「過労死ライン」の月100時間超の時間外労働が発生しており、研究・教育業務も含めて従来業務の改善や、タスクシフト、定型業務の自動化など現行業務のイノベーション(改革)を労使間で進めていく必要があります。

地域医療と大学機能・大学病院の医療を維持するために、医療行政や事業者が本事業場職員に対し適切な健康・安全確保義務の履行のために講じる措置を注視し、本事業場の産業医として助言をしていく所存です。

## 島根大学医学部における研修会・講演会・セミナー開催情報

2022年2月15日～3月14日 対象者: 一般 一般市民 医療 医療関係者 本学 本学教職員・学生

開催日	開催名	場所(★印 学外開催)	対象者	主催者
2/20(日) 13:00~16:00	子どもの摂食障害を支える私の役割、私たちの役割 ～プライマリケア医と養護教諭に伝えたいこと～	Zoomによる オンライン開催	一般 医療 本学	島根大学医学部附属病院 子どものこころ診療部
2/20(日) 14:00~15:30	市民公開講座「ここまで進んだアレルギー疾患最新治療」	臨床講義棟2階 臨床大講堂	一般	島根大学医学部附属病院 アレルギーセンター
2/17(木)～ 3/17(木)	令和3年度 第3回肝臓病教室・家族支援講座	肝疾患相談・支援センター ホームページ上での動画配信	一般 医療	島根大学医学部附属病院 肝疾患相談・支援センター

詳細については、医学部・附属病院ホームページ【研修会・講演会・セミナー】をご覧ください。



# NEWS



## CONTENTS

・病院ニュース第100号に寄せて  
・新しい皮膚科  
～皮膚科学講座教授就任のご挨拶～

・「医師の働き方改革」における  
大学病院産業医の果たす役割  
・研修会・講演会・セミナー開催情報



# 病院ニュース第100号に寄せて

病院長 しいな ひろあき  
 権名 浩昭

2013年11月に島大病院ニュース第1号は発刊されました。以降、井川前病院長の思いが入った病院ニュースは今回で第100号の発行となります。その間、島根大学病院に関わるニュースを、当院で働く職員や地域の医療従事者に向けて発信してまいりました。

ニュースとはそもそも新しい情報、変わった出来事を意味します。つまり病院ニュースでは、病院を訪れる多くの患者さんやその家族が関心をもつような話題や最新の医療情報などを提供してきました。今回、100回目発行の節目にあたり、今後の病院ニュースのあり方を考える良い機会をいただきました。従前より、数多くのテーマを取り上げましたが、やはり医療は日進月歩で変化しますので、正確な情報提供には常に更新が必要です。一方、多職種で構成される病院職員に対しては、病院内で周知することにより病院機能が改善するようなお知らせもあります。これらを正確に共有しながら、病院職員が一丸となって進むべき道を確認し、また地域の医療関係者とは当院の方向性や新しい話題を共有しながら、地域とともに発展する島根大学病院を作り上げていきたいと思っております。その手段として病院ニュースを活用していただければ幸いです。

今後ともよろしくご支援いただきますようお願い申し上げます。

病院ニュース  
バックナンバー



## 新しい皮膚科 ～皮膚科学講座教授就任のご挨拶～

皮膚科学講座 教授 やまさき おさむ  
 山崎 修



2022年2月1日付けで皮膚科学講座の第4代教授として着任いたしましたので、ご挨拶申し上げます。私は1993年に島根大学を卒業後、岡山大学皮膚科学教室へ入局し、一般皮膚科とともに、皮膚がんの診療に長年携わってきました。2015年より全国初の岡山大学病院メラノマセンターが開設され、センター長をさせていただきました。中四国の拠点として、関連部門と連携しながら集学的診療を提供し、メラノーマに関する教育と研究の向上に貢献しました。

森田栄伸前教授のご専門で本邦トップレベルのアレルギーや下肢静脈瘤の診療体制を継承し、得意

分野を生かして、形成外科と緊密に連携しながら山陰の皮膚がん診療の拠点を目指します。さらに参加型臨床実習の更なる充実を図り、皮膚科に特化せず、学生には臨床医としての姿勢を学んでいただきたいと思います。

大学病院で診る皮膚疾患は水疱症、重症薬疹、皮膚感染症、皮膚潰瘍、重症熱傷、皮膚がん、皮膚リンパ腫など多岐にわたります。関係科や多職種で連携させていただかないといけません。ガイドラインによる標準的な治療や高度な手術技術の提供はできますが、患者さんと相談しながら治療を進めていきます。

島根県の患者さんや医療従事者の皆様にさらに信頼される皮膚科になるために、スタッフ一丸となり新しい皮膚科のスタートを切ります。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

問い合わせ先 皮膚科学科学講座 医局 TEL:0853-20-2210



# ご報告



# ご報告

## 島根県内がん診療連携拠点病院 緩和ケアチーム合同研修会を行いました

緩和ケアセンター センター長 なかに 中谷 としひこ 俊彦

都道府県がん診療連携拠点病院である当院の緩和ケアセンターとして、より良い緩和ケアを県内に普及させることが重要です。今回 Web 会議システムを用いて島根県健康推進課がん対策推進室との共催で、国立がん研究センターがん対策研究所がん医療支援部の先生方のアドバイザー協力により、県内拠点病院緩和ケアチームの合同研修会を 2021 年 11 月 6 日土曜日に行いました。

目的は、県内の拠点病院における緩和ケアの問題点を共有し、顔の見える関係づくりで連携して、各病院の緩和ケアの質向上を目指すことです。当院緩和ケアセンタースタッフの協力で事前アンケートを行い、各施設から緩和ケアチームの目標設定や緩和ケアの質の評価と改善点について課題があることを把握して臨みました。多職種の参加者皆さんが積極的に議論することで Web 研修会を活性化して下さり、事後アンケートでも肯定的な評価とご意見をいただきました。

今後も県内の拠点病院連携を大切にして緩和ケア普及に努めたいと存じます。

なお、この Web 研修会の生命線であるパソコンシステム運営について、医療クラークの伊藤さんと医療サービス課の陰山さんに多大なるご尽力をいただきましたことを感謝して申し添えます。



## 「3本の矢」のように ～臨床検査科から～

臨床検査科 診療科長 やの 矢野 しょうぞう 彰三

臨床検査科の矢野です。当科に所属する医師は3人です。たった3人ではありますが、臨床検査技師、看護師、事務職員のサポートで幅広く仕事させていただいております。

まず、臨床検査科では、トリアージ検査センターを利用し(病院ニュース97号)、COVID-19 自費検査(予約は病院HPから)および出入国等に必要な陰性証明書の発行を行っています。コンパクトなPCR検査機器「Smart Gene®(MIZUHO MEDY)」を導入しました(図)。オミクロン株の識別はできませんが、感染の有無は1時間以内に判明します。



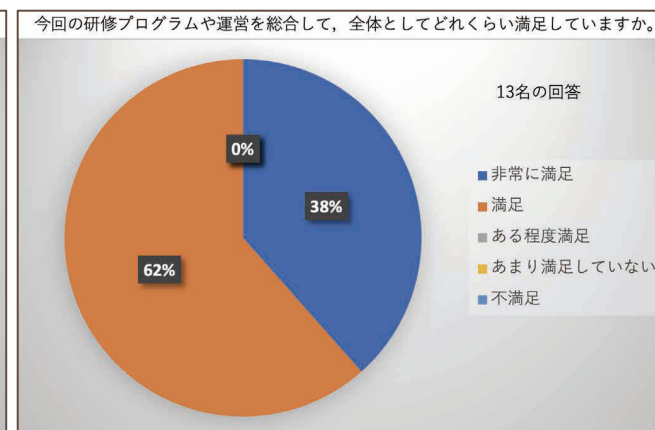
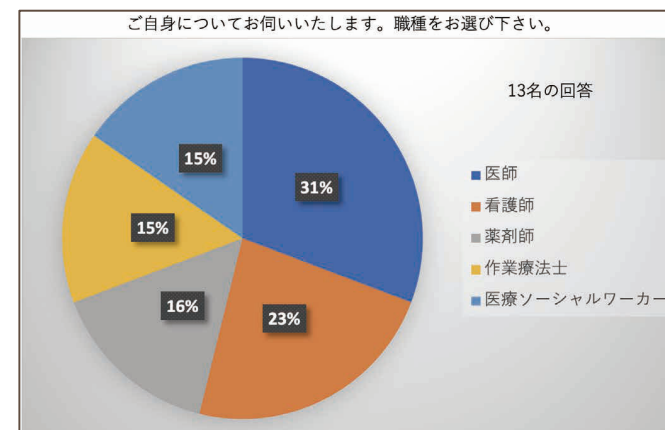
図. トリアージ検査センターに設置されたPCR検査機器Smart Gene®(MIZUHO MEDY)

次に、今年度は人間ドックを再開しました。島根県医師

会・歯科医師会会員対象の人間ドックも予定の3回を実施。今回から新たに導入した全身ドックPET-CT(同93号)を受検された方は、共済ドックと合わせて14人に上りました。がんの早期発見にも寄与することがありますので、広くご活用いただきますと幸いです。

さらに、2月11日には、日本臨床検査医学会中国・四国支部総会、日本臨床化学会中国支部例会・総会、日本臨床化学会四国支部例会・総会を合わせた第18回合同地方会を開催する予定です。残念ながらWEB開催となりますが、盛会となるよう総会長としての任を全う致します。

検査部副部長の吉富裕之助教は、最先端の心臓超音波装置 Philips EPIQ CVx を駆使して循環器疾患の診断・治療にあたり、新視覚化ツールを用いて説得力のある画像を提供しています(同92号)。小児科医として診療に携わる小林弘典講師は、新生児マスキング検査の拡充に貢献しています(同95号)。専門分野の異なる3人ですが、それが良いところでもあります。「3本の矢」の逸話のように結束し、病院の総合力を高めて参る所存ですので、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



問合せ先 緩和ケア講座 TEL: 0853-20-2237





# ご報告



# ご報告

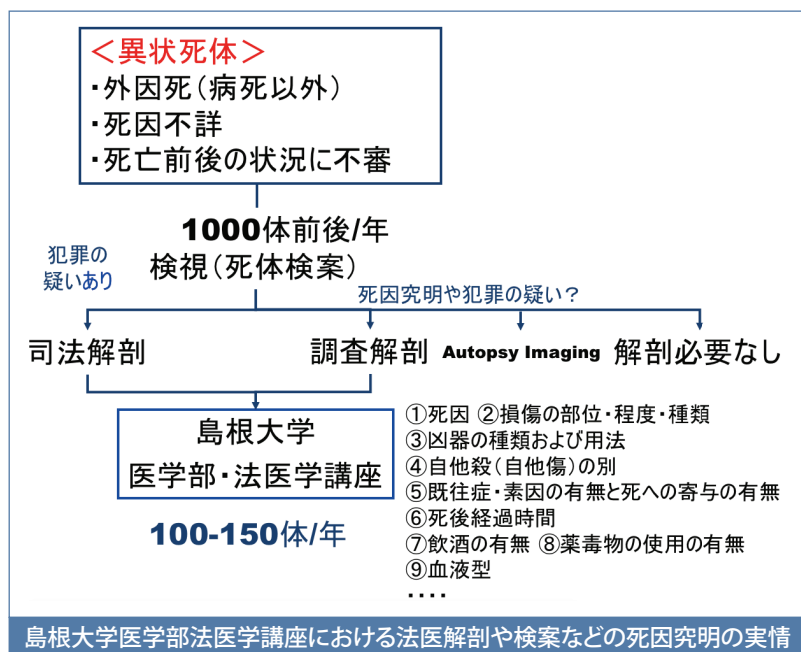


## 島根県死因究明等推進協議会が設立されました

法医学講座 教授 たけした はるお 竹下 治男

法医学は小生が入局したての今から30年ほど前は、人の予期せぬ死亡に際し、警察検察の求めに応じ、粛々と静かに司法解剖を行い遺族の救済や社会秩序の保持に水面下で協力する仕事でした。その後、社会の変容進歩に従い殺人事件のみならず、大規模災害、事故死、虐待対応および医療事故など、人権保護等の幅広い観点からの様々な不条理な死亡に対する社会的ニーズが増大し、政府は死因究明等推進基本法(令和元年法律第33号)を策定し、昨年6月には死因究明等推進計画が閣議決定されました。これを受けて島根県では、島根県健康福祉部医療政策課、島根県警察本部、島根県医師会、島根県海上保安部、松江地方検察庁、島根県保健所および島根大学医学部法医学講座から構成される島根県死因究明等推進協議会が本年1月に発足となりました。

島根県死因究明等推進協議会では今後、島根県民の生命の尊重と尊厳の保持を前提に県民生活の安定、公共の秩序の維持、公衆衛生の向上を目的とした死因究明等の推進を行ってまいります。実際的には、死因究明や死体検案において死者の尊厳を守るだけでなく、家族の死因を正確に知りたいというご遺族の思いに応えるような前向きな取り組みを行ってまいりたいと考えております。今後とも宜しく御願ひ申し上げます。



問合せ先 法医学講座教授室 TEL: 0853-20-2156



## うさぎ保育所のお餅つき会について

総務課

1月13日(木)はうさぎ保育所新春恒例の「お餅つき会」を行いました。

昨年度に続いて、コロナ禍の中での保護者の方々の参加は難しく、今年も規模を縮小して職員と子どもたちだけで行うこととなりました。

お餅つきを始めるにあたって、例年自前の「うさぎ保育所のネーム入りはっぴ」で登場のお父さんたちによる「餅つきデモンストレーション」も楽しみの一つでしたが、参加して頂けず、残念に思っていたところ、今年もビデオメッセージを届けて下さいました。子どもたちの大好きなポケモンキャラクターに扮して、お餅つきの由来や杵でのつき方など楽しく教えて頂き、「もう一回観たい〜!!」と大喜び。気分も盛り上がったところでお餅つき会を始めることができました。

ひまわり組の子どもたちが順番に小さな杵で餅つき体験をし、「ぺったんぺったんぺったんこ〜!」の元気のいいかけ声とともにお餅がつきあがりました。小さいクラスはお餅を触って感触を楽しみ、大きいクラスはみんなでお餅を丸めました。できたお餅は「出雲風お雑煮」で美味しくいただきました。

来年はまた、みんなで行なう賑やかなお餅つき会が復活できることを願っています。

今年1年みんなが元気で過ごせますように…。





# ご報告

## 救急・集中治療調整管理センター(ECCOC) ～安全で安心な救急医療提供を目指した新部門～

### 救急・集中治療調整管理センター(ECCOC) ～安全で安心な救急医療提供を目指した新部門～

救急・集中治療調整管理センター センター長 わたなべ ひろあき  
渡部 広明

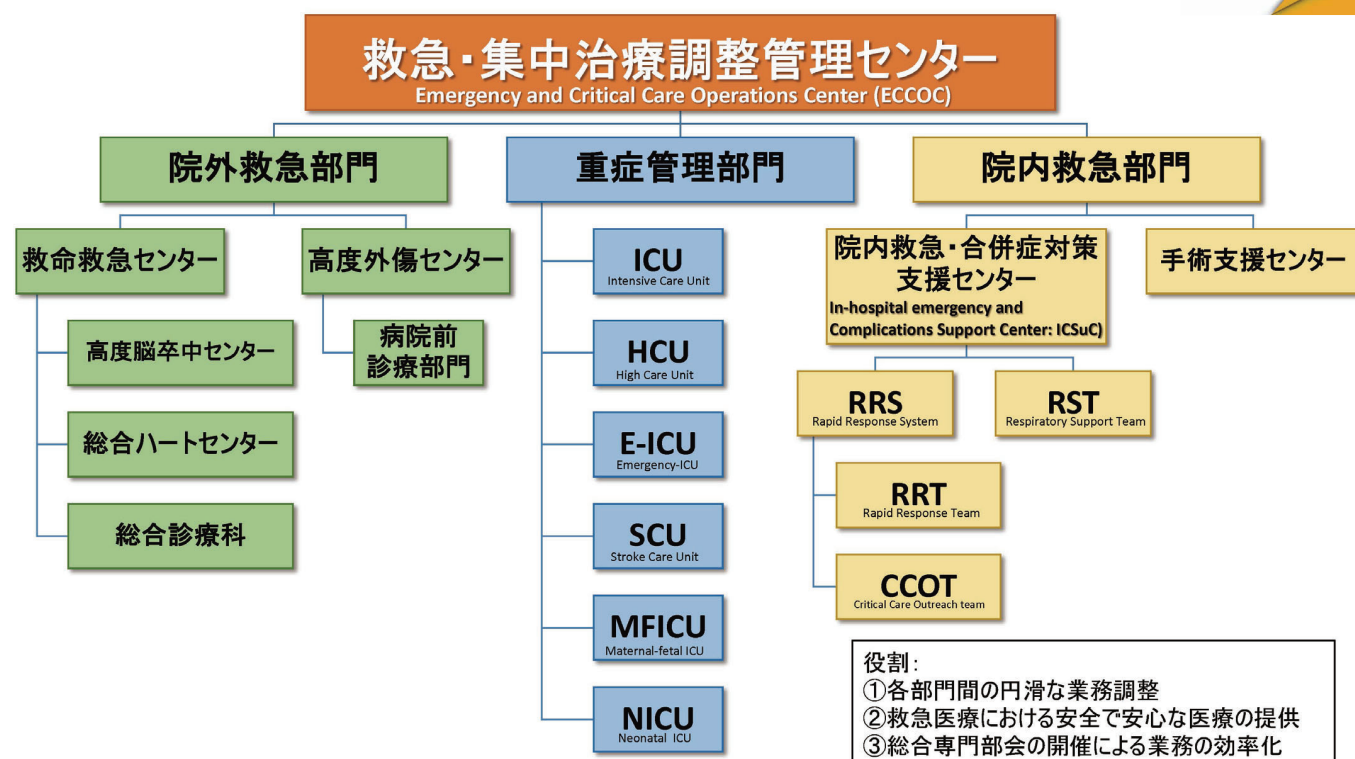
今日の救急医療は様々な救急病態に対応するとともに、各領域の専門性の高い医療提供が求められています。これまで当院では、救命救急センターを中心に様々な急性期病態に対応して参りましたが、より専門性の高い救急医療の提供を目指して、重症外傷を担う高度外傷センター、脳卒中に対する専門診療を行う高度脳卒中センター、循環器疾患に対する総合ハートセンターなどを設置してきました。こうした救急に関連する各部門は高度に連携して初期対応にあたり、集中治療部やハイケアユニット管理部などの重症管理部門へとシームレスにつなげていくことが重要となります。さらに、救急病態は院外のみならず、入院中の患者さんにも発生することから、院内での急変対応を担当するRapid Response System (RRS) との連携も欠かすことができません。

こうした多様化する救急医療と集中治療に対して、各専門的救急部門が高度に連携してスムーズでシームレスな医療を提供することを目指して、各部門を統括する役割を担う、「救急・集中治療調整管理センター」(Emergency and Critical Care Operations Center:ECCOC [通称イーコック]) を新設いたしました。

ECCOC の役割は、①各専門的救急部門間の円滑な業務の調整、②救急医療における安全で安心な医療の提供、③総合専門部会の開催による業務の効率化促進、としております。

ECCOC は図の通り、大きく3つの部門から構成されます。

裏面に続きます



救命救急センター、高度外傷センター、高度脳卒中センター、総合ハートセンター、総合診療科の5部門から成る「院外救急部門」、ICU (集中治療部)、HCU (ハイケアユニット管理部)、E-ICU (救命救急センター病棟)、SCU (ストロークケアユニット)、MFICU (母体胎児集中治療室)、NICU (新生児集中治療室) の6つから成る「重症管理部門」、そして同じく新設した院内救急・合併症対策支援センター (In-hospital emergency and Complications Support Center: ICSuC [通称アイサック]) と手術支援センターの2部門から成る「院内救急部門」の3つで構成されます。特にICSuCは院内で発生する急変病態に迅速に対応する機動性の高い部署で、従来のRRSとRST(呼吸サポートチーム)を統合して迅速な急変対応とその後の合併症回避につなげる活動を担う中核組織です。手術合併症リスクの高い病態に術前・術後と介入する手術支援センターと連携することで急変病態の速やか改善と合併症の防止に取り組みます。

これら3部門を統括して各組織の横の連携を調整管理する役割を担うのが、ECCOCの重要ミッションとなります。ECCOCを核として院内の救急・集中治療に関わる部門を統括することで、より迅速でシームレスで安全な救急医療の提供を目指して参ります。





# ご報告



# ご報告



## タリーズオンラインコーヒースクール

小児科 チャイルドライフスペシャリスト  
小児科 保育士

くろさき あかね  
黒崎 あつみ  
つばき 樫 敦美

昨年12月、病院内にあるタリーズコーヒーさん主催による、オンラインのスクールイベントが開催されました。

Tully's Actionとして、地域のために様々な取り組みをされています。3年前には、小児病棟で入院している子どもたちのために、パンケーキ作りのイベントを開催していただきました。痛いことや辛いことをがんばっている子どもたちにとって、楽しいイベントを通して子どもらしさを取り戻し、自然と笑顔になることができました。大好評だったので、定期的なイベント開催を予定していましたが、コロナ禍となり、病棟内のイベント開催が難しくなっていました。

小児病棟では、昨年からオンラインイベントを徐々に開催してきました。そこで、タリーズコーヒーさんにオンラインでできるイベントがないかと相談したところ、快くコーヒースクールをご提案していただきました。タリーズコーヒーさんにとって初めてのオンラインイベントでした。実際のコーヒースクール(90分間)の内容を、30分に短縮し、コーヒーの豆知識クイズ(写真1)やドリップコーヒーの淹れ方(写真2)など、子どもたちも付き添いのご家族も参加しやすい方法を考えてくれました。

普段コーヒーを飲まない方々もおられました。"このコーヒーは飲みやすいんですね""コーヒーを飲んで心が温かくなりました"と、嬉しいお言葉もいただきました。終了後は、子どもたちへクリスマスプレゼントもあり、心がほっとする素敵な会になりました。

これからも、入院している子どもたちのために楽しい会を企画していきたいです。



## 脳神経外科と耳鼻咽喉科・頭頸部外科での合同手術 ～経鼻内視鏡的下垂体腫瘍摘出術～

脳神経外科 外来医長 助教 かんばら みずき  
神原 瑞樹  
耳鼻咽喉科・頭頸部外科 診療科長 教授 さかもと たつり  
坂本 達則

下垂体は様々なホルモンを分泌する脳の部分で、下垂体腺腫やラクテ嚢胞といった、脳腫瘍や嚢胞病変が出現することで、ホルモン分泌障害や視力視野障害を来すことがあります。このような疾患に対して、開頭術ではなく、経鼻内視鏡で病変に到達して摘出術を行うことが一般的になってきました。

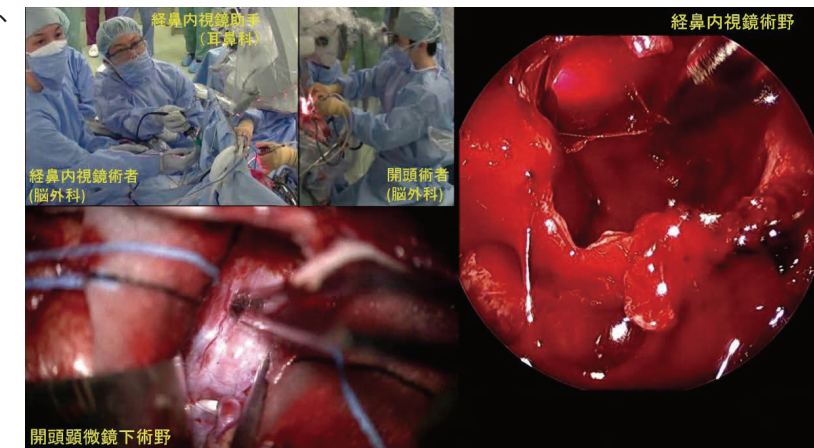
これまで当院では脳神経外科(以下「脳外科」という。)で鼻の操作から腫瘍の摘出までを行っていましたが、2021年より耳鼻咽喉科・頭頸部外科(以下「耳鼻科」という。)と合同でこの手術を行っています。耳鼻科では多くの鼻腔・副鼻腔の内視鏡手術を行っているため、鼻の処置は手早く確実であり、下垂体部分へのアクセスも良好になります。また術後の鼻腔の違和感も少なくなり、鼻内の傷の治癒も良好です。そのため鼻から腫瘍に到達するまでの手技をまず耳鼻科で行い、腫瘍近辺まで到達した後は耳鼻科医師が内視鏡を保持しながら脳外科医師が病変摘出などの頭蓋内操作を行います。実際に脳外科が単独で手術を行う場合と比較しても、手術時間が短く、脳外科医師が腫瘍の摘出に専念でき、術後の鼻腔の経過も良くなっています。

さらに頭蓋内に大きく進展した下垂体腺腫等では、耳鼻科と合同での経鼻内視鏡下の操作だけでなく、開頭して顕微鏡下での操作も同時に行うことで、安全かつ確実に摘出を行うことができます。

今後も脳外科と耳鼻科が合同で、出来る限り患者さんに負担が少なく安全な手術をお勧めさせていただきます。



脳外科医(一番左)と耳鼻科医(左から3人目)の合同で、経鼻内視鏡的下垂体腫瘍摘出術  
下垂体腺腫に対するの摘出術(左:術前、右:術後)



経鼻内視鏡と、開頭顕微鏡下での同時手術





島大病院ニュース 2022年2月

# お知らせ

令和3年度島根大学市民公開講座

## 口は災いのもと ～口腔医学の新知識を学ぼう～ を開催します!!

歯科口腔外科学講座/口腔ケアセンター  
教授・診療科長・センター長 かんの たかひろ  
管野 貴浩

日頃より、当院歯科口腔外科ならびに口腔ケアセンターにおける患者さん診療にご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございます。

この度3月6日(日)、島根大学医学部歯科口腔外科学講座スタッフ一同で広く一般市民の皆様を対象とした「口腔医学の最新知識をわかりやすく解説する」市民公開講座を開催いたします。ぜひ周囲の方々、ご家族の方などをお誘い合わせの上、お気軽に参加くださいますよう、よろしくお願いいたします。

なお、参加された方で希望者には製本した資料も配布する予定です。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

問合せ先 歯科口腔外科 / 口腔ケアセンター  
TEL 0853-20-2301  
(担当: 松田 悠平 [まつだ ゆうへい])

参加無料

令和3年度 島根大学市民公開講座  
くち  
口は災いのもと  
～口腔医学の新知識を学ぼう～



Date 2022年3月6日(日)  
13:00-16:00

Place Zoomによるオンライン開催 

※新型コロナウイルスの感染状況によっては現地開催を中止する場合がございます

<タイムスケジュール> Web参加申込みは下記QRコードのPeatixにて受け付けます

13:00-13:05	開会挨拶「口は災いのもと」	教授 管野貴浩
13:05-13:30	口にも「がん」ができるの?	准教授 奥井達雄
13:30-14:00	お口の中ってどうなってるの? お口の役割って?	歯科医員 石塚真士 社会人大学院 都田絵梨奈
14:00-14:25	知らなかった。口腔疾患と全身との関連性	講師 辰巳博人
14:35-15:00	やってみよう。口腔機能のセルフチェック	助教 松田悠平
15:00-15:25	今日から始める、口腔ケア	歯科衛生士 竹田菜由
15:25-15:50	当院歯科口腔外科と口腔ケアセンター	助教 大熊里依
15:50-16:00	今日のまとめ	教授 管野貴浩

Peatix 

<主催>  
島根大学医学部歯科口腔外科学講座  
島根大学医学部附属病院歯科口腔外科/口腔ケアセンター

裏面あり

お知らせ  
島大病院ニュース

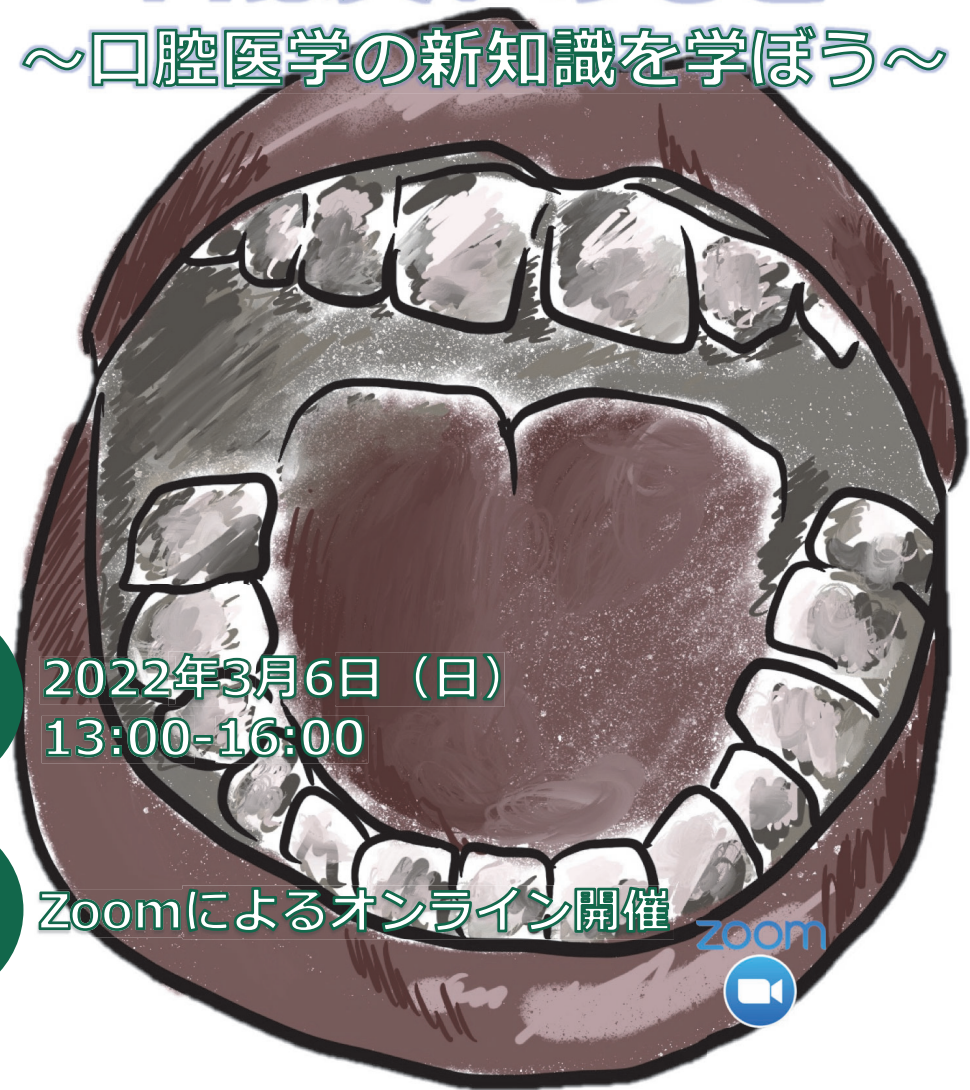
2022年2月 発行  
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会  
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当  
TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063  
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



参加無料

令和3年度 島根大学市民公開講座

## くち 口は災いのもと ～口腔医学の新知識を学ぼう～



Date 2022年3月6日(日)  
13:00-16:00

Place Zoomによるオンライン開催 

※新型コロナウイルスの感染状況によっては現地開催を中止する場合がございます

### <タイムスケジュール>

13:00-13:05	開会挨拶「口は災いのもと」	教授 管野貴浩
13:05-13:30	口にも「がん」ができるの?	准教授 奥井達雄
13:30-14:00	お口の中ってどうなってるの? お口の役割って?	歯科医員 石塚真士 社会人大学院 都田絵梨奈
14:00-14:25	知らなかった。口腔疾患と全身との関連性	講師 辰巳博人
14:35-15:00	やってみよう。口腔機能のセルフチェック	助教 松田悠平
15:00-15:25	今日から始める、口腔ケア	歯科衛生士 竹田菜由
15:25-15:50	当院歯科口腔外科と口腔ケアセンター	助教 大熊里依
15:50-16:00	今日のまとめ	教授 管野貴浩

Web参加申込みは下記QRコードのPeatixにて受け付けます

Peatix



<主催>  
島根大学医学部歯科口腔外科学講座  
島根大学医学部附属病院歯科口腔外科/口腔ケアセンター



# お知らせ

## 経口摂取推進シンポジウムを開催します!!

歯科口腔外科学講座/口腔ケアセンター  
教授・診療科長・センター長 かんの たかひろ  
管野 貴浩

日頃より、当院歯科口腔外科ならびに口腔ケアセンターにおける患者さん診療にご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございます。この度3月20日(日)、当院摂食嚥下支援チーム(SST)の協力のもと、県内各医療施設、島根県歯科医師会「経口摂取支援協議会」と連携した「経口摂取推進シンポジウム」を開催いたします。多施設、多職種が「経口摂取」をキーワードにリレー形式で最新の摂食嚥下医療に関する講演を行います。

対象は全ての医療、介護職種としておりますので、ご興味のある方ぜひともご参加ください。

問合せ先  
歯科口腔外科 / 口腔ケアセンター  
TEL 0853-20-2301  
(担当: 松田 悠平 [まつだ ゆうへい])

**参加無料**  
経口摂取推進シンポジウム  
～地域社会連携で守る健康と健口～

**Date** 2022年3月20日(日)  
12:55-16:25

**Place** オンライン開催

All Shimaneで取り組む「経口摂取推進プロジェクト」の1つとしてリレーシンポジウムを開催します。  
県内の大学機関および職能団体のスタッフが「経口摂取」をテーマに多様な切り口で口腔健康管理・嚥下リハビリテーションについて熱く語ります。ぜひご参加ください!!

**<タイムスケジュール>**

12:55-13:00	開会挨拶	管野貴浩 (島根大学医学部附属病院歯科口腔外科)
13:00-13:20	地域における経口摂取の現状とニーズ	清水 潤 (一般社団法人 島根県歯科医師会)
13:20-13:40	経口摂取に関わる解剖学	狩野正明 (島根県立中央病院歯科口腔外科)
13:40-14:00	経口摂取と栄養学	平井順子 (島根大学医学部附属病院栄養治療室)
14:00-14:20	経口摂取と薬学	中村健志 (島根大学医学部附属病院薬剤部)
14:20-14:40	口腔の疾患と治療	小池尚史 (雲南市立病院歯科口腔外科)
14:40-15:00	口腔機能評価	大熊里依 (島根大学医学部附属病院口腔ケアセンター)
15:00-15:20	口腔ケア	市山友子 (益田赤十字病院歯科口腔外科)
15:20-15:40	嚥下に関わる疾患	酒井康生 (島根大学医学部附属病院リハビリテーション部)
15:40-16:00	嚥下機能評価	間壁史良 (島根大学医学部附属病院リハビリテーション部)
16:00-16:20	摂食嚥下リハビリテーション	熊谷英岳 (島根大学医学部附属病院リハビリテーション部)
16:20-16:25	振り返りとまとめ	成相義樹 (松江市立病院歯科口腔外科)

参加申込みは下記QRコードのPeatixにて受け付けます

**<主催>**  
島根大学医学部附属病院歯科口腔外科/口腔ケアセンター  
**<共催>**  
島根県歯科医師会 経口摂取支援協議会

裏面あり

**参加無料**

## 経口摂取推進シンポジウム ～地域社会連携で守る健康と健口～



**Date** 2022年3月20日(日)  
12:55-16:25

**Place** オンライン開催

All Shimaneで取り組む「経口摂取推進プロジェクト」の1つとしてリレーシンポジウムを開催します。  
県内の大学機関および職能団体のスタッフが「経口摂取」をテーマに多様な切り口で口腔健康管理・嚥下リハビリテーションについて熱く語ります。ぜひご参加ください!!

### <タイムスケジュール>

12:55-13:00	開会挨拶	管野貴浩 (島根大学医学部附属病院歯科口腔外科)
13:00-13:20	地域における経口摂取の現状とニーズ	清水 潤 (一般社団法人 島根県歯科医師会)
13:20-13:40	経口摂取に関わる解剖学	狩野正明 (島根県立中央病院歯科口腔外科)
13:40-14:00	経口摂取と栄養学	平井順子 (島根大学医学部附属病院栄養治療室)
14:00-14:20	経口摂取と薬学	中村健志 (島根大学医学部附属病院薬剤部)
14:20-14:40	口腔の疾患と治療	小池尚史 (雲南市立病院歯科口腔外科)
14:40-15:00	口腔機能評価	大熊里依 (島根大学医学部附属病院口腔ケアセンター)
15:00-15:20	口腔ケア	市山友子 (益田赤十字病院歯科口腔外科)
15:20-15:40	嚥下に関わる疾患	酒井康生 (島根大学医学部附属病院リハビリテーション部)
15:40-16:00	嚥下機能評価	間壁史良 (島根大学医学部附属病院リハビリテーション部)
16:00-16:20	摂食嚥下リハビリテーション	熊谷英岳 (島根大学医学部附属病院リハビリテーション部)
16:20-16:25	振り返りとまとめ	成相義樹 (松江市立病院歯科口腔外科)

参加申込みは下記QRコードのPeatixにて受け付けます



**<主催>**  
島根大学医学部附属病院歯科口腔外科/口腔ケアセンター  
**<共催>**  
島根県歯科医師会 経口摂取支援協議会

